

令和2年度 下水道維持管理業務取組み発表会

発表概要

所属	矢部川浄化センター
発表タイトル	普及啓発活動用 施設見学オリジナル映像コンテンツの作成
取組の目的	新型コロナウイルスにより、施設見学等普及啓発活動に大きな支障を来すことを踏まえ、その代替として主に小学校に配布する目的で、本コンテンツの作成を行ったものである。
取組内容	<p>令和元年度に発生した、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度は「施設見学」や「下水道展」などの開催ができなくなり、普及啓発活動に大きな支障を来すことが懸念されていたところである。</p> <p>特に本来、水環境学習の一環として施設見学を行っている小学4年生は、その機会が失われてしまうため、当センターでは代替手段として施設見学のオリジナル映像コンテンツの作成を行った。</p> <p>内容は実際の施設見学に即し、座学や実験を含む「概要編」と場内を見て回る「場内案内編」に分け、地域の下水処理場としての紹介を行いながら、下水道事業の重要性に触れる構成とした。また難しく捉えられがちな技術的な説明については、対話式とすることで理解しやすいよう工夫し、地域の特色である「筑後弁」を用い、親しみやすく楽しく学べるようにしている。なお、コロナ後も視野におき、従来諸事情により施設見学に来る機会がなかった小学校にも、見学を促すようメッセージを込めている。</p>
取組成果・効果	<p>矢部川流域下水道推進協議会と協力し、関連市町の全小学校へのDVD配布を行った。また9月10日の「全国下水道デー」にあわせ、コンテンツをYOUTUBEにアップロードし、関係市町のホームページのトップ画像や、お知らせ等で当該サイトへのリンクを行っていただいている。また11月に当センターで行われた地元団体主催のライブインシアターにおいて、本編上映前に当該コンテンツの放映を依頼し、大人向けの普及啓発活動にも一定の成果を得たものと考えている。</p> <p>なお、新型コロナウイルスの対応においても、下水道が排水を適切に受け入れ、下水処理をしたうえで安全に川や海に排出することで、広く公衆衛生の向上に大きく貢献していることを示すことにも留意した。</p>